

月華

平成30年1月25日
京都市上京区寺町通清和院口上ル
二丁目北之辺町395 20
社会福祉法人 浄山会
TEL 075(223)1165
FAX 075(223)1166
URL <http://jozankai.jp/>
発行人 稲岡正純
編集人 広報委員会

第51号



新年のご挨拶

社会福祉法人 浄山会

理事長 江藤 英賢



新年明けましておめでとございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えることとお喜び申し上げます。日頃よりつきかげ苑の運営に対し、ご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年末の話になりますが、日本漢字能力検定協会主催である「今年の漢字」が清水寺で発表され、二〇一七年の漢字に「北」が選ばれました。北朝鮮のミサイル発射や核実験などの強行、九州北部豪雨、北海道産のじゃがいも不作など、不安を感じている世相を反映していることがうかがえます。もちろん、北海道日本ハムの大谷翔平選手や清宮幸太郎選手の活躍も含めての選定ではありますが、やはり、どちらかと言えば前者の比重が大きく、平和と安全の尊さを実感した一年だったのではないのでしょうか。

時を同じくして平成三十年度の介護報酬の改定の概要が発表となりました。介護報酬の改定率については、プラス0.54%の増額改定となっております。その内容は、二〇二五年に向けての介護ニーズの増大に伴い、国民一人一人が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医療・介護などが包括的に確保できるようなシステムの構築、重度化防止のための自立支援に対して、要介護状態などの軽減又は悪化の防止を図るサービスの提供、介護離職問題の払拭や、介護業界人材確保のための処遇改善や労働負担の軽減、介護に要する費用の増加とその支え手の減少に対する制度の安定、持続性を高める取り組みとあります。当苑に於いても、この中の人材確保はたいへん厳しい状態が継続しております。人材の不足は、サービスの質の低下や職員の負担増となり直接的に大きな影響を及ぼします。世情だからと現状に甘んじることなく、困難を打開していく術を講じ、来るべき将来に備えることが重要だと考えます。

今年の干支は「戌」です。犬は人との付き合いも古く、親しみ深く、忠実で社会性があります。戌の干支の特徴として「勤勉で努力家」とあります。当苑も「勤勉と努力」を怠ることなく、良質なサービスの提供と地域貢献を目指してまいります。本年もご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



冬の感染対策

寒い季節の感染症の代表的なものにインフルエンザとノロウイルスがあります。インフルエンザは十二月～三月ごろに流行り、三十八℃以上の発熱・関節痛などの症状が比較的急速に出現し、遅れて鼻汁・咳などの症状が続きます。主な感染経路は、咳・くしゃみの際に口から出る小さな水滴による飛沫感染です。外出時はマスクを着用し、外出後は流水・石鹸による手洗いうがいを徹底する。

室内は湿潤を保ち、十分な休養とバランスのとれた食事をする

流行時は人ごみ・繁華街への外出を控える

右記内容が、インフルエンザ対策として大事なことです。つきかげ苑では十二月初旬に入居者および職員全員へのインフルエンザワクチンの予防接種を完了しております。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は手指・食器などを介して経口感染し、人の腸管で増殖し、発熱・下痢・嘔吐などの症状にて重症化を伴います。現在抗ウイルス剤・ワクチンはありません。

食事前・トイレ後の石鹸手洗いの徹底

下痢・嘔吐の症状がある人は食物を扱わない、食物への過熱の徹底・器具の消毒

吐物・糞便の飛散防止と感染への消毒対策

が基本的対策として挙げられます。

インフルエンザ・ノロウイルス共に感染力は強く、連鎖的に感染が続いてしまい、また抵抗力の弱い高齢者に感染した場合は重篤化を招くことがあります。つきかげ苑では予防対策としてインフルエンザには手洗い・うがい・アルコール消毒の徹底、ノロウイルスには手洗い・次亜塩素酸ナトリウムによる共用部分の消毒を毎日行っており、春先まで継続いたします。

昨年十一月よりご家族のご面会時にもうがい・手洗い・消毒をお願いしている次第ですが、体調不良時にはマスクの着用、またご面会をお控えたいたくなど、あらためてのご理解とご協力をお願いいたします。

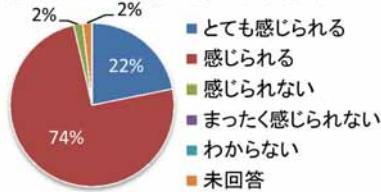
(嘱託医師 長岡研五)

平成29年度 入居者ご家族満足度調査 結果

< 実施期間 >平成29年10月1日～10月15日 < 調査対象 >入居者ご家族 < 調査数 >70名
 < 調査方法 >指定の調査票の郵送/返送 < 回収数 >55名(回収率 78.6%)

1. 施設的环境について

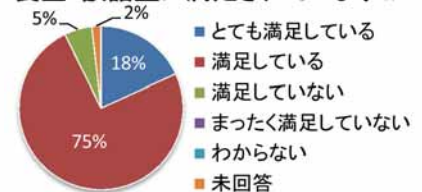
施設内は清潔に感じられますか？



居室の環境に満足されていますか？



食堂・談話室に満足されていますか？



掃除は行き届いていますか？



施設内の臭いが気になりますか？



ご面会に来やすい環境・雰囲気ですか？



(ご指摘・ご意見)

居室に、食べかすやほこりが溜っているのが気になる。
 洗面台が汚れていることが多い。
 施設内の温度は、入居者に合わせて調整してほしい。
 サービスを手厚くするために人員確保の策を検討されては？

職員の入れ替わりが多いように感じる。
 介護職員ともう少しコミュニケーションを取りたい。
 センサーマットが汚れているのが気になる。
 ベッドのリモコンの定期点検をお願いします。

2. ご入居者へのサービスについて

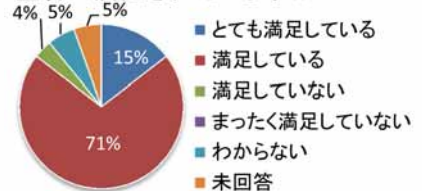
食事について満足されていますか？



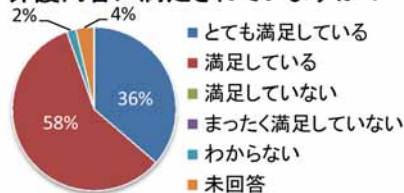
入浴に満足されていますか？



整容に満足されていますか？



介護内容に満足されていますか？



レクリエーションに満足されていますか？



(ご指摘・ご意見)

介護職員の人数が少ない。
 日常的なレクリエーションがあれば、もっと良いと思う。
 日常会話・普段のおしゃべりなどの働きかけがほしい。
 ベッドの上の髪の毛を取ってほしい。
 出前の機会を増やしてほしい。
 食事の量が少ない。
 遠征レクリエーションを少人数化し落ち着いた活動にしてほしい。
 写真をフロアに掲示してほしい。
 職員の対応が事務的に処理している。
 風呂や部屋の掃除など、清潔さにすることが気になる。

(評価いただいた点)

いつもよくやって頂いており感謝しています。
 習字を習い、本人は喜んでいました。
 無機質な介護では無く、とても心のぬくもりが感じられる対応だと思います。
 いつも声を掛けて下さり、安心してお任せできます。
 月華祭や動物園など、充実した思い出になりました。
 それぞれの状態に合った食事やおやつを考えていただいて、とてもありがたいです。
 心から感謝しております。この気持ちは、本人が一番感じていると思います。

3. 職員の接遇・対応について

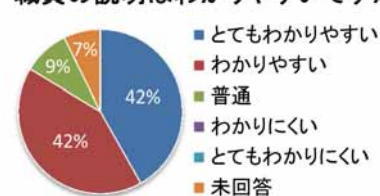
職員のマナーはいかがですか？



気軽に要望を伝えやすいですか？



職員の説明はわかりやすいですか？



(ご指摘・ご意見)

介護・看護職員以外の職員は、入居者の状態などの情報を共有しているのでしょうか？
事務所にいる職員は来訪者に挨拶しているか？
業務に追われており担当職員と話すタイミングが無い。

(評価いただいた点)

いつも丁寧な対応をしていただき安心している。
事務職員も介護職員もきちんと挨拶して下さりフレンドリーです。
家族の不安にも、向き合ってください感謝しています。

4. ご入居者およびご家族の入居後の状況について

(1) 入居者ご本人のプラスの変化

病院や老健にいた時よりもアットホームな雰囲気なので、本人も落ち着いて自分の居場所を感じている様子です。
よくおしゃべりする様になったと思う。
毎日の生活に生きがいを感じていると思います。
食欲が出て、完食するようになった。
健康状態が回復した、笑顔が見られるようになった。
自宅にいた時よりも笑顔が増えたように思い、喜んでいます。
足のむくみが無くなり、大変喜んでます。
徐々に体力が落ちているが、ふっと笑みを浮かべる時があり、それなりに気持ちがやわらいでいるのが感じられる。
日によって食事に対する意欲が増し、自力で食事出来るようになった。

(2) 入居者ご本人のマイナスの変化

加齢によるものだと思いますが、入居時よりも徐々に体が衰えてきている。
高齢でもあるので、体力がなくなってきて会話が無くなってきた。
あまり会話が出来なくなってきているので仕方がないが、笑わなくなった気がする。
喜怒哀楽の表情が薄くなり、口数も減ってしまった。
歩くのが難しくなり、立てなくなり、続いて口数が少なくなり、嚥下が弱くなり、つらい事です。

(3) ご家族のプラスの変化

時間に余裕が出来たので、仕事面で色々考える事が出来る様になった。
精神的に大変助かっています。
自由な時間に外出する様になった。安眠出来る様になった。
心のゆとり、時間のゆとりは雲泥の差があります。故に面会時、母には愛おしさしかありません。いらいらして怒ってばかりいた前の自分とは別人です。

(4) ご家族のマイナスの変化

接点が減った事で、やはり寂しさを感じます。
自分の時間が増えてきたことと、反比例して母には申し訳ないという気持ちは常にあります。「プロの介護をしてくださる方々の手厚い介護を受けているのだから、母にとっても幸せなんだ」と自分に言い聞かせている。

お礼

本調査にご協力いただきました皆様には、この場をお借りしまして御礼申し上げます。ありがとうございました。
紙面の都合上、掲載させていただくことができなかったご意見につきましても、しっかりと受け止めサービスの向上と改善に活用させていただきます。
なお、本調査結果は事務所横の掲示板に掲示しておりますのでご覧ください。



年末年始の行事



京都～大原三千院

大原まで紅葉狩りに足を運んできました。観光客であふれかえる中、真っ赤に染まったもみじがそれ以上にあふれかえていました。季節の移り変わりを感じていただけたと思います。



焼きいも

うちわで炭火をおこし見張り番の入居者さん。湯気とともにさつまいものいい香りが漂います。「まだかなあ～、まだかなあ～」と、焼きいも奉行になっておられました。味は絶品です！



クリスマス会

サンタクロースとトナカイがお一人おひとりにプレゼントを届けます。サンタとトナカイは大忙し！おいしいケーキをいただきながら、歌ったり笑ったり、楽しい時間があっという間に過ぎていきました。



もちつき大会

最初は恥ずかしがっておられた入居者さんも、杵を持ったら真剣そのもの。お歳を忘れさせられるくらい力強いつきぶりに驚かされました。幸せを願うひとつつきが、一年の幸せを運んでくることでしょう。



おせち料理

お正月は、縁起の良い食材でのおせち料理をいただきました。めでたい日のめでたい食事ですから、自然と笑顔もこぼれます。食材のいわれを教えていただいたり、お正月を楽しくゆっくりと過ごすことができました。



書き初め大会

新年の幕開けの一筆です。最近あまり触れることのない筆や墨、「久しぶりやわ～、書けるかなあ？」という言葉とはうらはらに今年の抱負や目標、決意などを達筆にて綴られていました。皆様にとって良い年でありますように！



新入居者ご紹介



一階つめユニットに入居された宮本直美さんです。熊本生まれの明るい方で、詩吟を趣味にされています。



二階さくらユニットに入居された杉本麗子さんです。お話と松の木小唄など歌うことがお好きな方です。



二階さくらユニットに入居された宮村フサ子さんです。友人とカラオケに行くことがお好きだそうです。



二階ふじユニットに入居された福知英子さんです。洋裁を嗜まれ手作りの洋服を作っておられたそうです。



三階はすユニットに入居された田中瑛さんです。テレビや新聞をよく見られる情報通な方です。



三階はぎユニットに入居された高松しげ夫さんです。刺繍や相撲、野球など幅広い趣味をお持ちです。



三階はすユニットに入居された田中つるのさんです。お好きな歌手は氷川きよしさんだそうです。



四階つばきユニットに入居された増田貞子さんです。ラジオで三波春夫を聴きながらよく洋裁をされたそうです。

要望受付

平成二十九年十月から十二月に、ご入居者及びご家族から頂きましたご要望は七件になります。

ご要望の内訳は「喉を潤すためにも、水分のトロミは薄めにして欲しい」「食事を拒み始めたならその時の食事は中止にして、次の食事でも多く食べられるようにしてもらいたい」「こまめに水分を飲ませて欲しい」「難聴のため、大きめの声で話し掛けて欲しい」「レクリエーションに参加するよう誘って欲しい」と介助及び職員への対応方法に関する内容が五件。その他には、「服薬している薬の内容を教えて欲しい。また、薬が変更された場合は教えて欲しい」「衣類の紛失を母がとても気にしている」と二件ありました。

頂戴しましたご要望は、ケアプランの立案や各種委員会、フロアミーティング等で検討し、ご入居者一人ひとりの生活がより心豊かになるよう迅速な対応に努めてまいります。

また、一階事務所横の掲示板の下に設置しておりますご意見箱や、各行政機関の要望受付窓口（市・区・国民健康保険団体連合会）及び第三者委員への相談もご利用下さい。

つきかげ苑理念

私たちは、自立支援・自己決定・生活の継続性・個別性を大切にします。

「共生(ともいき)」思想に基づく、利用者本位の明るく、楽しく、やすらぎのある施設づくりに努めます。

編集後記

「福祉の常識は社会の非常識」という言葉が存在するように、福祉（介護）業界ならではの常識や慣習が数多くあります。入職したての頃は「それっておかしいのでは？」と違和感を感じていたことも、日々の業務に追いついていくと理想と現実の狭間で浮遊し、いつの間にか福祉色はたまた施設色に染まり、感覚が麻痺していきます。満足度調査やご要望での皆さまのお声は、ふと足を止め我を見つめ直す、たいへん貴重な機会です。さあ成年が始まりました。雪がこんこん降る寒い中でも、元気に過ごす犬のように、良い介護を目指し一年を駆け回りまします。幸せがワンさか来ますように。